

投影型静電容量方式組込用タッチモニターの フロントパネル板金への取り付け方法

投影型静電容量方式の組込用タッチモニターをお客様の筐体に組み込む際に、筐体面とタッチ面を同一にする(フラッシュマウント)ためのガイドです。製品図面に記載された顧客パネルより薄いパネルを使用される場合は、特に参考にしてください。

製品図面に記載された顧客パネルの範囲の厚みの取り付けに関しましては、製品図面も参考にしてください。

備考) 取付金具は製品によっては、2 個の場合があります。その場合、左右または上下でご利用ください。

注意) 板金のシャープエッジの処理は必ず行って下さい。また、タッチ面に金属筐体を密着させる場合は、タッチエリア(表示エリア)に金属筐体を近づけないようにしてください。少なくとも 10mm 以上は離すことを推奨します。また、タッチエリア周辺に用いるフォーム材などには導電性のものを用いないようにしてください。

1. 対象モデル: 1093L/1590L/1790L/1991L/1593L/2094L/2293L/2294L/2494L/2794L/3243L

注意) 図は 2293L/2294L 用を用いて記載されていますの、それ以外のモデルの詳細は異なります。

1.1 フロントパネル板金の裏側にボス(メスネジのスタッド)を取り付ける方法

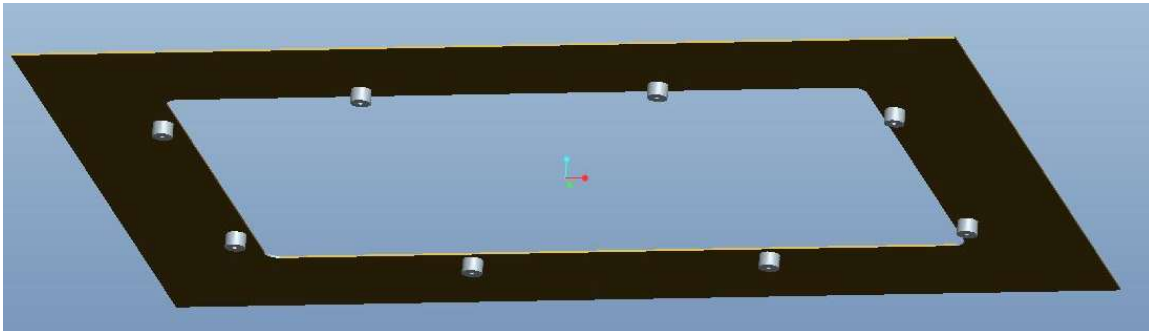
1) 板金の裏面にボス(高さはブラケットのアジャスト範囲を考慮して 5 から 10mm 程度)を取り付ける。

開口部寸法は、タッチパネルガラス寸法+1mm 程度にする。

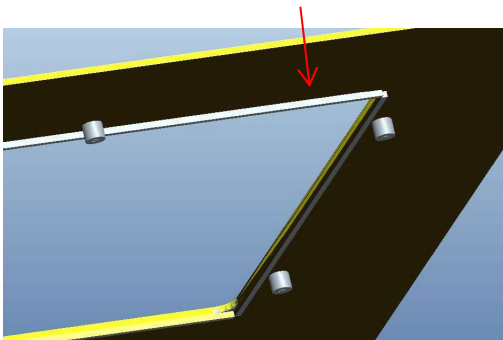
注意) 本説明では背面から取付を想定しています。製品図面は前面からの取付を想定していますので、若干大きめの開口寸法になっています。

ボスの取り付け位置は各製品図面を参照してください。

不明な場合は、弊社までお問い合わせください。



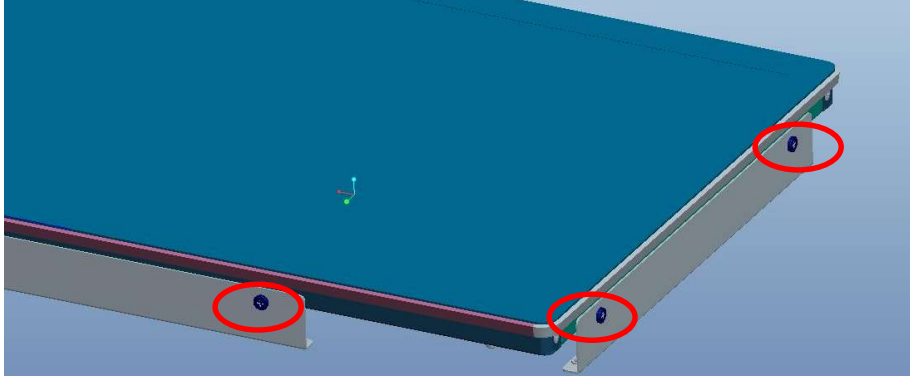
更に、フロントパネルとタッチモニター間のシーリングをより効果的にするために、板金開口部の背面に、厚さ 3mm 程度の柔らかいフォームテープ(黒が推奨)などを貼ることを推奨します。注意)フォーム材は非導電性のものを使用すること。



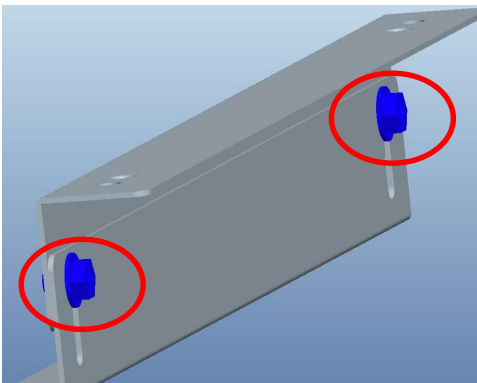
備考) フォームテープが入手しづらい場合は、フォーム材と両面テープを別々に購入し、まず両面テープを板金に貼り、細長くカットしたフォーム材を両面テープに貼ってください。

2) タッチモニター(以降 TM)に Flush mount 用の組み立てたブラケットを取り付ける。

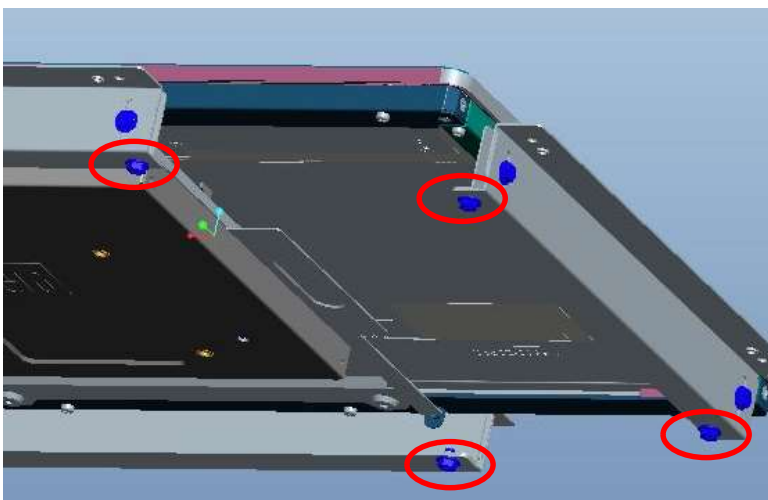
a) TM に TM 用ブラケットを平頭の M4 ネジで固定する。



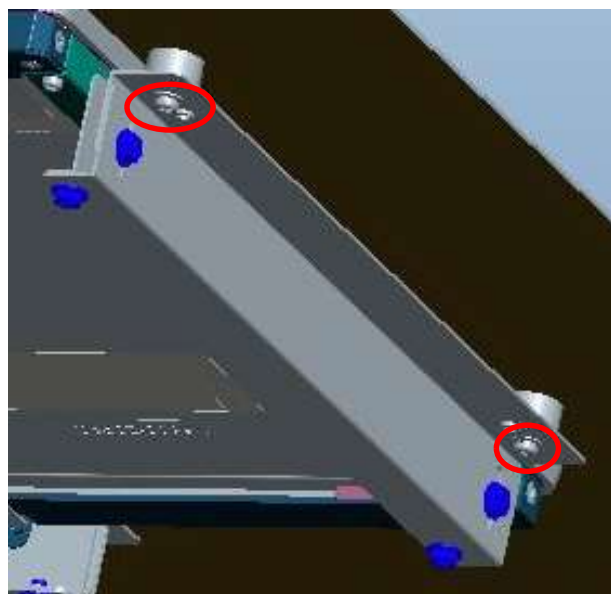
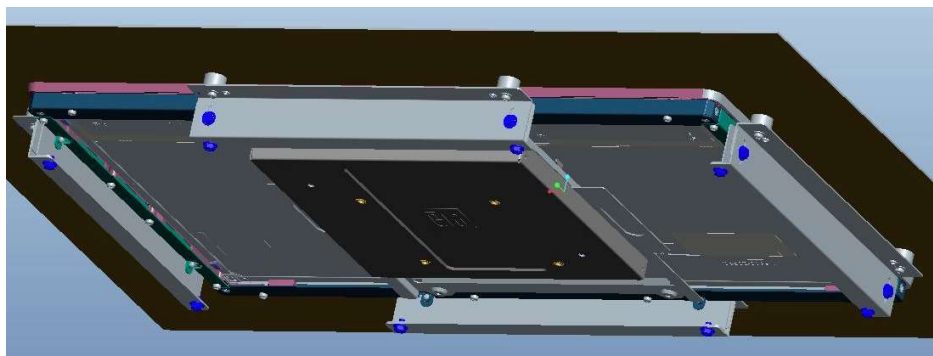
b) 筐体側に取り付け用のブラケット 2 つを M4 ネジで軽く締める。



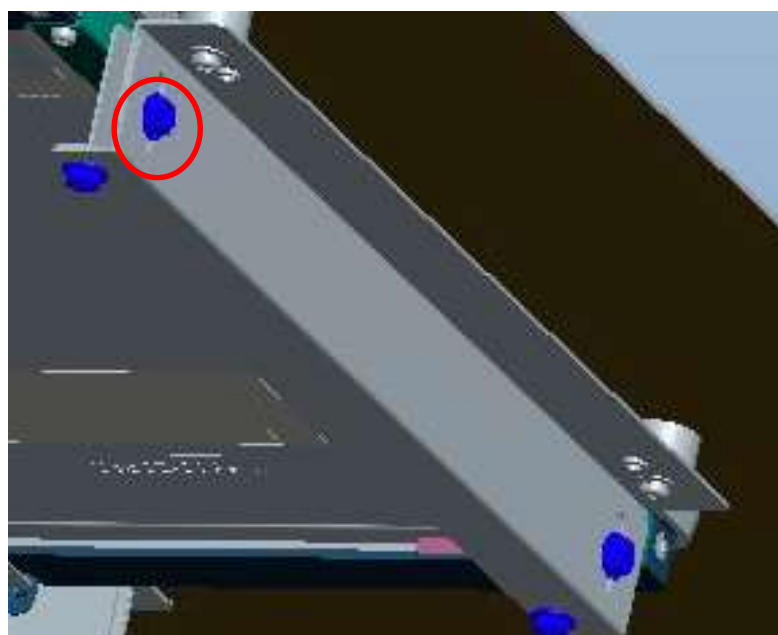
c) そのブラケットを TM 側のブラケットに M4 ネジで固定する。



3) フロントパネル背面に TM を取り付け、ネジで固定する。(非同梱)



4) タッチ面と板金面の高さを微調整後、側面の M4 ネジを強く締め、完了です。



2. 対象モデル: 1291L

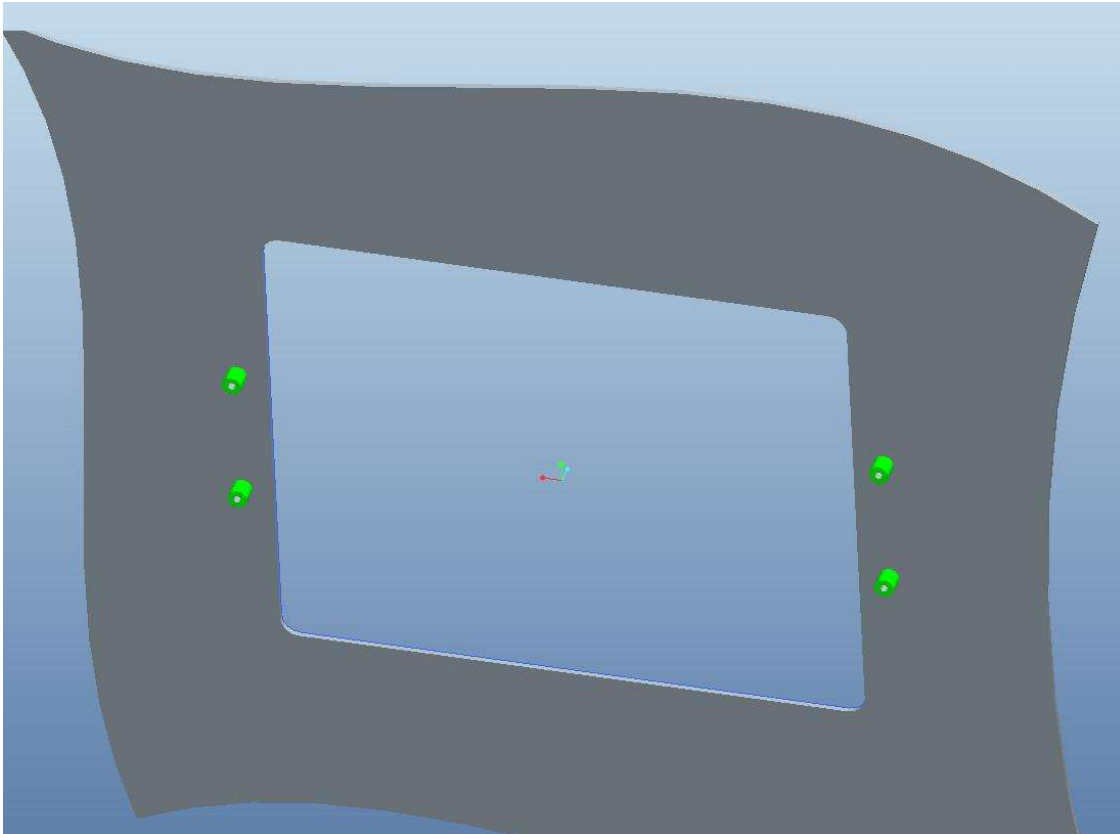
2.1 フロントパネル板金の裏側にボス(メスネジのスタッド)を取り付ける方法

- 1) 板金の裏面に M4 対応のボス(高さは 10mm 程度)を取り付ける。

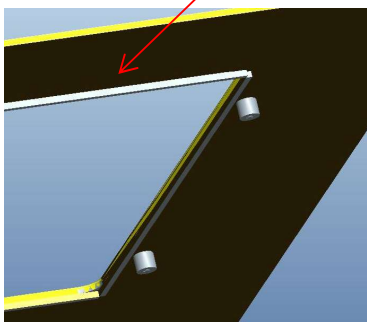
開口部寸法は、タッチパネルガラス寸法+1mm 程度にする。

ボスあるいはスタッドの取り付け位置は各製品図面を参照してください。

不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

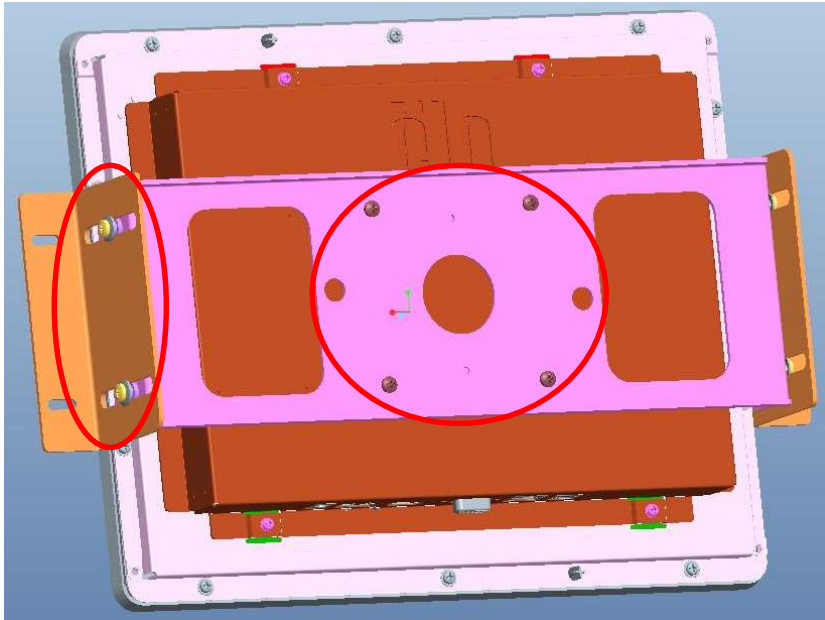


使用される板金が薄い場合は、フロントパネルとタッチモニター間のシーリングをより効果的にするために、板金開口部の背面に、厚さ 3mm 程度の柔らかいフォームテープなどを貼ることを推奨します。(注意)フォーム材は非導電性のものを使用すること。



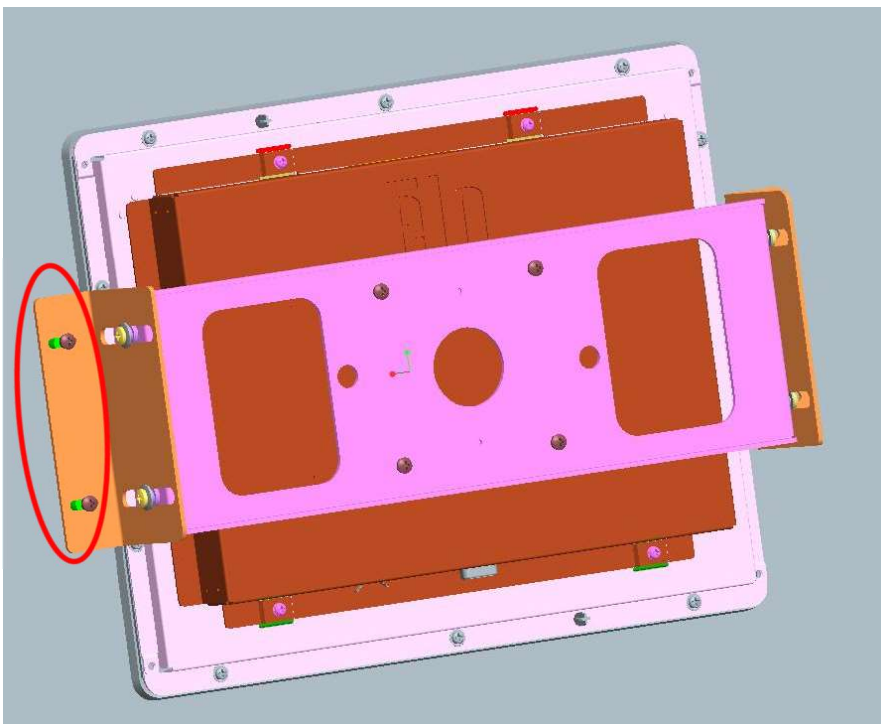
備考)フォームテープが入手しづらい場合は、フォーム材と両面テープを別々に購入し、まず両面テープを板金に貼り、細長くカットしたフォーム材を両面テープに貼ってください。

- 2) タッチモニター(以降 TM)に Flush mount 用の組み立てたブラケットを取り付ける。
 - a) VESA 穴部 4 個
 - b) 左右各 2 箇所



備考)左右のネジは後で、高さ調整を行うために、緩やかに閉めます。

- 3) フロントパネル背面側から TM を取り付け、左右の各 2 箇所の M4 ネジ(非同梱)でフロントパネルと固定する。



4) タッチ面と、フロントパネル面の高さが一致するように調整後、左右のネジを固定して、完了です。

